vol.118
鈴鹿市男女共同参画センター

ジェフリー通信 すずか

2025 7月

「ジェフリーすずか通信」はホームページでもご覧になれます。
http://www.city.suzuka.lg.jp/danjo/

「ジェンダー・ギャップ指数 2025」が公表されました

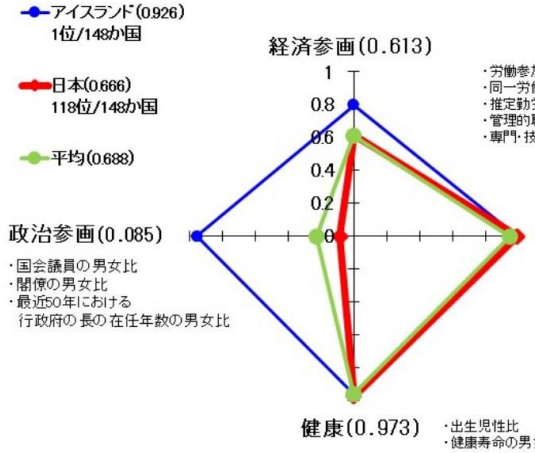
世界経済フォーラム（World Economic Forum：WEF） が 2025 年 6 月 12 日、男女格差の現状を各国の統計をもとに評価した「Global Gender Gap Report 2025」（グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート、世界男女格差報告書） を公表し、その中で、各国における男女平等を数値化したジェンダー・ギャップ指数（Gender Gap Index：GGI）を発表しました。この指数は、「経済」「教育」「健康」「政治」の４つの分野のデータから作成され、０が完全不平等、１が完全平等を示しています。今回の調査では、男女が完全に平等な状態を 100%とした場合の全世界の達成率は 68.8%（0.688）で、昨年度よりわずかに改善が見られました。ですが、WEF によると、現在の進捗速度は、パンデミック前のペースを下回っており、完全な平等は推定で 123 年先と見込まれています。

また、ジェンダーギャップの解消は豊かな国ほど進む傾向にあり、高所得国では 0.743、低所得国では 0.664 となりました。分野別では、健康は 0.962、教育は 0.951 と男女平等に近づきつつあるものの、経済は 0.610、政治は 0.229 で、政治参加の男女平等は世界的に特に深刻な課題であることが示されています。

そして、日本のジェンダーギャップ指数は 148 カ国中 118 位で、前年（146 カ国中 118 位）と同順位でした。教育・健康分野に関しては上位ですが、政治・経済分野の改善が遅れている状況は前年までと変わっていません。

ジェンダー・ギャップ指数（GGI） 2025年

・スイスの非営利財団「世界経済フォーラム」が公表。男性に対する女性の割合（女性の数値/男性の数値）を示しており、0が完全不平等、1が完全平等となり、1に近いほど順位が高いとされている。
・日本は148か国中118位。「教育」と「健康」の値は世界トップクラスだが、「政治」と「経済」の値が低い。



順位	国名	値
1	アイスランド	0.926
2	フィンランド	0.879
3	ノルウェー	0.863
4	英国	0.838
5	ニュージーランド	0.827
9	ドイツ	0.803
32	カナダ	0.767
35	フランス	0.765
42	米国	0.756
85	イタリア	0.704
101	韓国	0.687
103	中国	0.686
116	セネガル	0.670
117	アンゴラ	0.668
118	日本	0.666
119	ブータン	0.663
120	ブルキナファソ	0.659

（備考）1. 世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書(2025)」より作成
2. 日本の数値がカウントされていない項目はイタリックで記載
3. 分野別の順位：経済(112位)、教育(66位)、健康(50位)、政治(125位)

（参考）世界経済フォーラム「Global Gender Gap Report 2025」（図）内閣府男女共同参画局 HP から抜粋
https://www.weforum.org/reports/global-gender-gap-report-2025

女子の理工系進学に関する状況について

我が国の女子学生が、理工系への進学を選択しない傾向が強いことが以前から課題となっています。このため、平成 17（2005）年から、内閣府男女共同参画局が中心となって、女子中高生・女子生徒等が理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりとイメージして進路選択（チャレンジ）することを応援するため、「理工チャレンジ（リコチャレ）」を推進しています。

また、鈴鹿市も毎年リコチャレのイベントを開催しており、今年は８月に開催予定です。詳細は広報すずか 7/5 号をご確認ください。

今回は６月に公表された令和７年度版男女共同参画白書の中から、一部ご紹介します。

諸外国と比べた日本の現状

令和３（2021）年の経済協力開発機構（ＯＥＣＤ）調査によると、大学など高等教育機関のいわゆる「ＳＴＥＭ」（科学・技術・工学・数学）分野に入学した学生に占める女性の割合について、日本は「自然科学・数学・統計学」の分野で 27%、「工学・製造・建築」で 16%と、いずれも比較可能な 36 か国で最低となっています。【※1】なお、令和３（2021）年時点における研究者に占める女性の割合（17.8%）も、ＯＥＣＤ調査等によると他国と比べ群を抜いて低いです。【※2】

他方、同じくＯＥＣＤの令和４（2022）年における「生徒の学習到達度調査」（ＰＩＳＡ）によると、日本の女子学生の 15 歳時点における科学的リテラシー及び数学的リテラシーは、ＯＥＣＤ諸国の男女の平均得点を大きく上回っており世界でトップクラスです。【※3】

以上のことから、我が国の女性の理工系能力が十分活用されることなく、社会的・経済的な損失を招いているという指摘もなされています。

「理系的経験」の必要性を示す調査研究

―「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」

内閣府はこの課題について継続的に調査分析を行っており、令和３（2021）年度においては、文部科学省「学校基本調査」の二次分析、高校生（4,594 人）を対象とするモニター調査結果、その他各種統計データ等に基づいて、地域における実態の把握及び要因分析が行われました。

≪主な結果≫

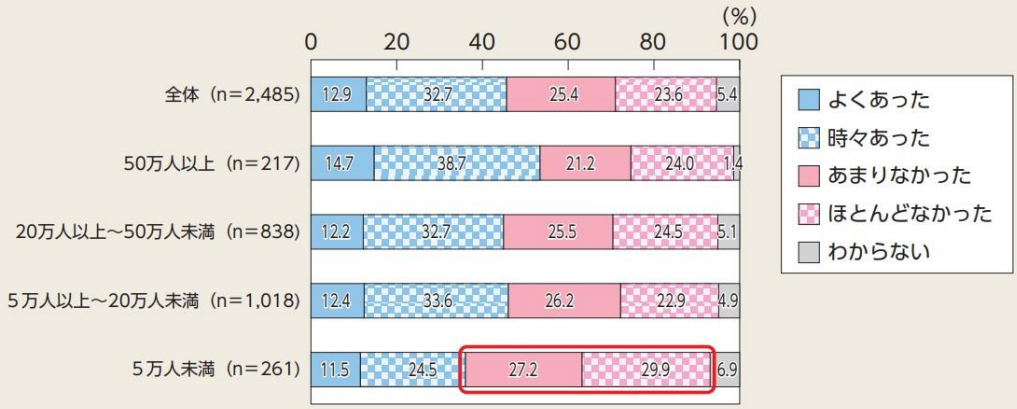
女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因の一つとして、女性の理工学部志望者は、幼少期の科学館・博物館体験や大学や自治体のイベントへの参加経験等の理系的経験が多く、理工系分野に興味を持つきっかけとして、理系的経験が寄与している可能性がうかがえます。

他方で、理工系分野への女性の進学に関する地域性についての分析の結果、幼少期の科学館・博物館体験や、大学や自治体などが主催するイベントへの参加経験等の理系的経験は、人口が「５万人未満」の市町村で少なく（図１、２）、理工系に対する興味を深める機会が不足していることがうかがえます。また、保護者の学歴や家庭の暮らしの状況など、女性の４年制大学進学に影響を与える各種指標は、人口規模が小さいほど低い水準にあります。

※1 OECD “Education at a Glance 2021”
※2 総務省「科学技術研究調査」（令和6（2024）年）
※3 OECD “PISA 2022 Results”

【幼少期の理系的な経験】

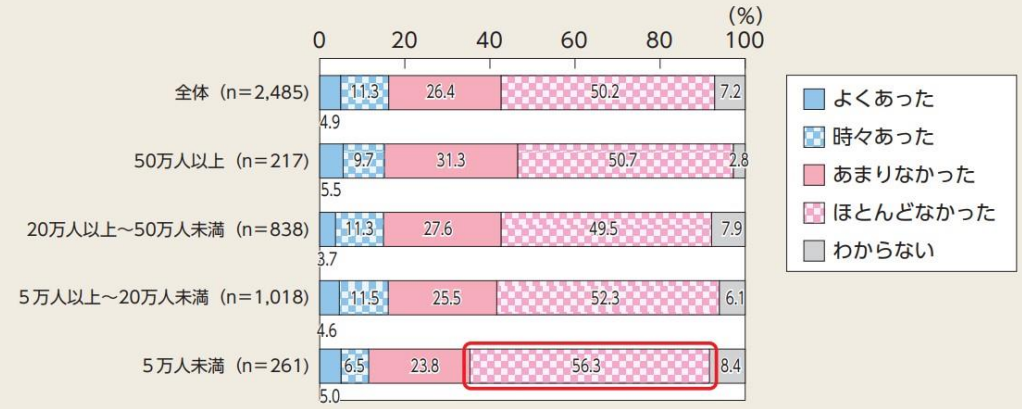
図１　人口規模別　「保護者に、科学館や博物館に連れていってもらうこと」があったか（女性）：単数回答



（備考）内閣府「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」（令和３年度委託調査）

【大学や自治体などが主催するイベントへの参加経験】

図２　人口規模別　「大学や自治体などが主催する、理工系進学に関するイベント・シンポジウムに参加すること」があったか（女性）：単数回答



（備考）内閣府「女子生徒等の理工系分野への進路選択における地域性についての調査研究」（令和３年度委託調査）

上記のことから、女子の理工系進学を促進する上で、人口「５万人未満」の地域は相対的に課題が大きく、今後重点的に取り組むべき地域と考えられるとともに、こうした地域において、理系的経験の機会を増やすことが重要であることが改めて明らかとなりました。

（出典）内閣府刊行　令和7年度版男女共同参画白書

男女共同参画審議会が傍聴できます

とき	７月30日（水）１４時００分～
ところ	鈴鹿市男女共同参画センター（ジェフリーすずか）ホール
予定議題	令和６年度第３次鈴鹿市男女共同参画基本計画に係る年次報告書（案）の外部評価のまとめ
定員	１０人（先着順）
申込み	当日１３時３０分から１３時４５分まで、会場で受け付け

男女共同参画週間（6/23～29）
パネル展示・懸垂幕

今年も男女共同参画週間にあわせて、懸垂幕の掲示とジェフリーすずかの館内にて、男女共同参画についてわかりやすくまとめたパネル展示を行いました。

ジェフリーすずか館内　パネル展示

鈴鹿市役所本館　懸垂幕

生理用品を無料で配布しています

鈴鹿市では「ジェンダーの視点に立った人権尊重と性差に応じた健康支援」として生理用品の無料配布に取り組んでいます。

【配布場所】 ①健康福祉政策課　②市民対話課　③子ども家庭支援課
④社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会　⑤鈴鹿市男女共同参画センター ジェフリーすずか
⑥各地区市民センター（最寄りの地区市民センターで受け取れます）

女性のための電話相談

7月　July　2025

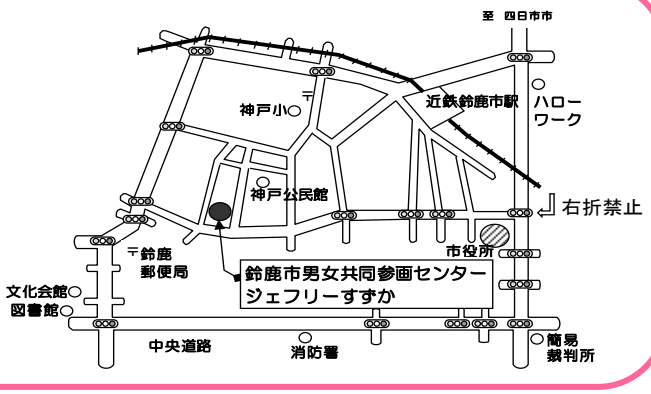
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

○：相談日

059-381-3118（直通）

相談日：毎週火・木・金曜日
（第４金曜日・休館日を除く）
時　間　10：00～12：00（午前）
13：00～16：00（午後）

- 女性の相談員が対応します。
- 相談は**無料**です。
- 相談内容などの**秘密は厳守**します。
- 必要に応じ、面接相談、市役所担当課等をご案内します。
- 話し中の場合は、時間をおいておかけ直しください。

鈴鹿市男女共同参画センター
（愛称：ジェフリーすずか）
〒513-0801
三重県鈴鹿市神戸二丁目15番18号
（かんべ再開発ビル３階）
TEL059-381-3113　FAX059-381-3119
E-mail　danjokyodosankaku@city.suzuka.lg.jp

ジェフリーすずか　検索